

2020年度 大阪産業大学附属高等学校 学校評価

1 めざす学校像

建学の精神「偉大なる平凡人たれ」は、平凡な日常生活をきちんと送っていくこそ偉大なことである、地道にたゆまず努力していくことは偉大なことであると教えています。日常生活の大切さ、努力の重要性を説く「偉大なる平凡人たれ」の建学の精神は、今、本校の次のような姿に現れています。

挨拶する声が響きあう学校。

夜遅くまで自習室で学習する生徒。

朝早くから自主練習に励むクラブ員。

生徒一人ひとりの努力をもっと励ましていける学校をつくっていきます。

2 中長期的目標

1. 教学改革
 - (1) カリキュラムの改定
 - (2) 人格の形成をめざして
 - (3) 生活指導の充実
 - (4) 課外活動の活性化
 - (5) 国際理解教育の推進
 - (6) 大阪産業大学ファミリーの構築
2. 進路指導の発展
 - (1) 進路指導部の充実
 - (2) 附属高校から大阪産業大学への内部進学対策
 - (3) 他大学への進学対策
 - (4) キャリア教育の充実
3. 広報
 - (1) 優秀な生徒の確保
 - (2) 入試広報の充実
 - (3) 入試渉外活動の充実
4. 人材育成
 - (1) 優秀な職員の確保と研修の促進
5. 経営改革
 - (1) 財政基盤の確立
 - (2) 学校規模の適正化
 - (3) 施設設備の充実
6. 防災・安全対策
 - (1) 防災対策の徹底
 - (2) 安全対策の徹底
7. 学校運営
 - (1) コンプライアンスの遵守
 - (2) 情報開示

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [2020年1月実施分]	学校評価委員会からの意見
○生徒 別紙「2020年度 アンケート結果のご報告」参照 ・「授業アンケート」の結果 ・「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」の結果 ・「学校生活についてのアンケート」の結果	別紙「2020年度 学校関係者評価」参照

3 本年度の取組内容及び自己評価

中 期 的 目 標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
1 教 学 改 革	(1)カリキュラムの改定 ア. コース学年主任の設置	特進コース、進学コースに学年主任を配置しました。		特進、進学の各コースにはこれまでコースに一人主任を配置していましたが、本年度より各学年に主任を配置しました。このことにより、特進コース各学年で、実質的にとりまとめ役をしていた教員の立場・役割が明確になりました。進学コースは、これまで学年主事が中心になり、とりまとめ役をしていましたが、学年主任を置いたことにより主任が学年主事と連携を取り、クラス担任の意見や考えの調整役に努めることにより、学年内で意思の疎通がスムーズになりました。
	イ. 年間行事計画の見直し	授業日数の確保を踏まえ、始業式・終業式等年間行事計画を見直します。	2021 年度年間行事予定表	行事委員会を組織し、2021 年度の年間行事について検討しましたが、新年度開始後、5月末まで休校となったため、大幅に見直しました。
	ウ. 学習効果の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの実施 ・授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケートの実施 	アンケート結果	「生徒が主体的に学習に取り組むためにどのようにしていくのか」が本校の大きな課題となっており、引き続き取り組んでいきます。
	エ. 図書活動の強化	『『与える教育』から『考えさせる教育』へ』という教育実践目標の具体化として、図書館機能の充実と図書委員会の活性化を進め、図書活動の強化を図ります。	月 1 回の「Library News」の発行	学校司書の配置のもと、図書委員会活動が活発に行われています。年度初めに図書委員会を開催し、各クラスの図書委員に役割を与え、図書活動の強化を図りました。また、「Library News」に生徒による図書紹介や読書感想文を載せることでも図書活動の強化を図りました。
	オ. ICT教育の推進	<p>ICT推進委員会を設置し、委員に委嘱されている教員を中心にICTによる業務の効率化を進め、オンライン授業など新しい取り組みを始めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業の実施 ・Classiの活発な活用 ・G suite for educaionの活用 ・デジらく採点の活用 	生徒・教員対象アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・休校中にオンライン授業を実施したことで、本校教員のICT教育への理解が高まりました。半数近くの生徒もオンライン授業に対して肯定的な評価をしています。 ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、行事の日程変更や新型コロナウイルスの学校での感染状況などの連絡を保護者にclassiを活用して頻繁に行うことになったため、学校・保護者間のClassiでの連絡は自然と根付きました。 ・Google classroomを活用することにより、教員・生徒間の教材・課題の送受信が容易となり、学習効率が向上しました。 ・試験の採点にデジらく採点というアプリを導入したことにより、教員の採点業務が大幅に軽減されました。
(2) 人格の形成をめざして ア. 徳・知・体「三位一体教育」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭への取り組み ・文化祭(梧桐祭)への取り組み 	ホームページに掲載している体育祭・文化祭(梧桐祭)の記事	授業、各種講座、体育祭・文化祭(梧桐祭)等の行事を通じて「三位一体教育」を推進しました。体育会実行委員会を開催し、体育祭をより充実したものにできるよう検討しました。	

1 教 学 改 革	イ. 地元から愛される学校づくり		・学校関係者評価委員会での地域住民の方の意見	
	ウ. 平和・人権教育の推進	・人権意識アンケート(6月) ・人権教育週間(6月) ・人権啓発週間(9月) ・人権フォーラム(11月)	各取り組みの実施	人権意識アンケート(6月)、人権教育週間(6月)、人権啓発週間(9月)、人権フォーラム(11月)に取り組んできました。
	エ. 「面倒見の良さ」と「厳しさ」の両面から迫る教育の実践		学力保障期間の取り組み	クラス担任と教科担当者やクラブ顧問、クラス担任と保護者との連携をとりながら、学力・生活指導を進めました。問題を抱える生徒に寄り添う一方で、甘やかせることをせず、指導に当たりました。問題を早期に把握することで解決を早めるよう努めました。学力保障期間を設け、「面倒見の良さ」とともに「厳しさ」の両面から教育実践を進めました。
	オ. 「褒めて伸ばす」指導の実践			職員会議を通じて「叱るだけではなく、生徒のいいところを褒める」ことをすすめています。全校朝礼では、本校生徒に対する外部からの好評価(手紙やメール)を伝え、自信を持たせるようにしています。
	カ. 学校行事を通じて生徒の積極性を引き出す		ホームページに掲載している 体育祭・文化祭(梧桐祭)の記事	体育祭・梧桐祭とも感染防止のため、密を避け規模を縮小しての実施となりましたが、所与の環境の中で工夫して取り組むことができました。
	(3) 生活指導の充実 ア. 挨拶の励行	挨拶励行の呼びかけ		保護者・地域住民の方々、本校を訪れる中学校教員・塾関係者の方々から「挨拶がきちんとできており、気持ちがいい」との評価を受けています。また生徒自身も学校生活アンケートで「この学校の生徒は、挨拶をきちんとしている」との設問に89%が好評価をしています。
	イ. 離学者対策の推進	不登校、問題行動、低学力による離学者を防止する体制を整えます。低学力者に対して取り組んでいる学期ごとの学力保障期間の取り組みを再検討します。	学力保障期間の設定	離学者は減少傾向にあります。引き続き不登校、問題行動、低学力等の問題について担任・学年・クラブ顧問・教育相談室が連携して対応するようにします。また、学期ごとに学力保障期間の取り組みを進めました。
	ウ. マナーやモラルの向上	ネット社会の問題点について生徒が理解を深めるように取り組みます。	・「高校生活のしおり」 ・SNSに関する講習会の実施	ネット社会の問題点について記載した「高校生活のしおり」をHRで活用し、生徒が理解を深めるようにしています。SNSの使用にはリスクが伴うことを知ってもらうため、毎年、新入生を対象にSNSに関する講習会を実施しています。2020年度は外部の方を講師に招いてリモートで講習を実施しました。
	エ. 個性を伸ばす生徒指導の実施			各コースの特長を明確にするとともに、生徒一人ひとりの個性を重視した指導に努めました。
	(4) 課外活動の活性化		クラブ戦績	本校のクラブ活動には、誇るべき成績が多くあります。多くの運動部、とりわけ強化指定クラブが、全国大会出場、更には「日本一」をめざして練習に励んでおり、実際、全国大会への出場、「日本一」を果たしたクラブもあります。

1 教 学 改 革	ア.「強化指定クラブ」の強化	強化指定クラブ(アメリカンフットボール部、硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、バレーボール部、テニス部、柔道部、ウエイトリフティング部)は、スポーツ推薦制度を活用し優秀な生徒の獲得に努め、熱心で充実した練習で全国大会出場を実現するようにします。	クラブ加入率	しかし、本校がクラブ活動で誇っているのは、成績だけではありません。 運動部に 1000 名ちかくの生徒が加わり、文化部と合わせると全校生徒の半数以上がクラブに加入しています。多くの生徒がクラブ活動に参加し、地道にたゆまず努力している姿こそ、本校が誇りにしているものです。	
	イ. 文化・芸術活動の充実	吹奏楽部の充実		強化指定クラブの成績は向上しています アメリカンフットボール部、ウエイトリフティング部 少林寺拳法部が全国大会への出場を果たしました。全国大会出場まであと一步のクラブもいくつかあります。更なる成績の向上をめざします。	文化祭(梧桐祭)でのクラス展示は、年々充実したものになっています。 吹奏楽部の活動が充実してきています。複数のコンクールに出場し、入賞を果たしました。2回目の定期演奏会も実施しました。今後も継続して実施する予定です。また、文化祭での演奏会に加えて、体育祭・卒業式での校歌演奏にも取り組んでいます。
	ウ.「学業とクラブ活動の両立」をめざして	「学業とクラブ活動の両立」の呼びかけ		クラブ員の中には、強化クラブのレギュラーで頑張りながら、あるいは文化部の中心となりながら、学習成績でもトップクラスの成績をおさめている生徒が少なからずいます。 運動部の生徒がリードして、本校の活気ある雰囲気を作っているところがあります。クラブで頑張っている生徒と勉学で頑張っている生徒がお互いを刺激し合い、更なる高みをめざす雰囲気ができつつあります。	クラブ員の中には、強化クラブのレギュラーで頑張りながら、あるいは文化部の中心となりながら、学習成績でもトップクラスの成績をおさめている生徒が少なからずいます。 運動部の生徒がリードして、本校の活気ある雰囲気を作っているところがあります。クラブで頑張っている生徒と勉学で頑張っている生徒がお互いを刺激し合い、更なる高みをめざす雰囲気ができつつあります。
	エ. 生徒会活動の充実	生徒会執行部への指導		2020 年度においても、生徒会主催の「遊戯大会」(年1回、ドッジボール大会やキックベースボール大会を実施)を開催し、多くの生徒が参加しています。 また、全校朝礼において、集合・整列を生徒会に任せ、自主的に進められるようにしています。 図書委員会の活動に加え、風紀委員が、駐輪場の整理とともに、校門での挨拶運動にも取り組むようにしています。他校の生徒会と交流し、互いの学校行事を見学しあい、自校の取り組みへの参考にしています。	2020 年度においても、生徒会主催の「遊戯大会」(年1回、ドッジボール大会やキックベースボール大会を実施)を開催し、多くの生徒が参加しています。 また、全校朝礼において、集合・整列を生徒会に任せ、自主的に進められるようにしています。 図書委員会の活動に加え、風紀委員が、駐輪場の整理とともに、校門での挨拶運動にも取り組むようにしています。他校の生徒会と交流し、互いの学校行事を見学しあい、自校の取り組みへの参考にしています。
	(5) 国際理解教育の推進 ア. 国際科における独自性の推進	1 年次での留学生と交流する宿泊研修、2 年次でのホームステイを含む 9 日間の修学旅行に加え、希望者を対象にした留学制度(1 年間または 3 ヶ月間)を設けていますが、英語力の向上のためのカリキュラムをより一層充実させるようにしていきます。		クラウドコンピューティングを導入するとともに、「English Presentation」の授業、外国人留学生との交流プログラムを実施し、主体性・積極性を養うとともに英語力やプレゼンテーション能力の伸長に取り組みました。	クラウドコンピューティングを導入するとともに、「English Presentation」の授業、外国人留学生との交流プログラムを実施し、主体性・積極性を養うとともに英語力やプレゼンテーション能力の伸長に取り組みました。

	(6) 大阪産業大学ファミリーの構築 ア. 高大連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> 大阪産業大学孔子学院と提携した中国での語学研修の実施 大阪産業大学国際学部と提携したニュージーランド研修・高大接続プログラムの実施 		大阪産業大学の孔子学院や国際学部と提携した取り組みをすすめています。														
2 進 路 指 導 の 発 展	(1) 進路指導部の充実 ア. 生徒の多様な受験(進路)への対応		大学合格者数 <table border="1"> <tr> <td>卒業生数</td> <td>685</td> </tr> <tr> <td>大阪産業大学</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>国公立大学</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>関関同立</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>産近甲龍佛</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>関西外国語大学</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>その他の大学</td> <td>339</td> </tr> </table>	卒業生数	685	大阪産業大学	202	国公立大学	6	関関同立	22	産近甲龍佛	74	関西外国語大学	24	その他の大学	339	
	卒業生数	685																
	大阪産業大学	202																
	国公立大学	6																
関関同立	22																	
産近甲龍佛	74																	
関西外国語大学	24																	
その他の大学	339																	
(2) 附属高校から大阪産業大学への内部進学対策 ア. 高大連携による進学指導の充実	キャンパス訪問、出張講義、入学前教育等を通じて、大学進学への目的意識がより一層高まるようにしていきます。 さらに、「大学における模擬講義」「高校保護者による産大見学会」を実施していきます。 また、卒業生への高校・大学合同の面談指導等、フォローアップを引き続きすすめるようにしていきます。	<ul style="list-style-type: none"> キャンパス訪問の実施 進学説明会の実施 エルダーによる講話の実施 大学における模擬講義の実施 高校保護者による産大見学会の実施 	大学との協議の上、キャンパス訪問、進学説明会、入学前教育、エルダーとの交流については内容を充実させていきます。															
(3) 他大学への進学 ア. 特進コースの進学対策 イ. Classi の活用	<ul style="list-style-type: none"> 週 39 時間授業 特別講座 早朝テスト 午後8時まで開放している自習室 受験週間 調査書の様式の変更に対応するため、Classiを活用しています。		国公立大学への合格者は、大阪府立大学2名、兵庫県立大学2名、奈良県立大学1名、富山大学1名であり、関関関同立は計22名、産近甲龍佛は計74名となっています。 本年度の3年生はコロナ禍で休校中も自学自習に取り組んだ結果、大学合格実績において例年を上回る結果を残しています。本校の教育の目標の一つである「自主性の尊重」を実践してくれました。 調査書の特記事項欄に字数の制限がなくなったため、在学中のクラブ活動や学習の振り返りのデータを蓄積しておき、出願に備えます。															
3 広 報	(1) 入試広報の充実 ア. ホームページの活用 イ. Web 出願の導入	校内でホームページを担当する体制を強化し、新たな情報が次々と掲載されるようにします。Facebook を活用して校内でのトピックを紹介するように努めています。	ホームページ	最新情報を掲載するようホームページの充実に努めました。 そのホームページや Facebook で本校生徒の元気で明るい姿を多くの人に見てもらっています。 Web 出願の採用により、出願受付に関する事務手続きが大幅に省力化されました。														

4 人材育成	<p>(1) 優秀な職員の確保と研修の促進</p> <p>ア. 優秀な教育職員の確保</p> <p>イ. 教員研修の設計と運営</p>	<p>今後10年以内に専任教諭数の約 25%が定年退職することになります。中・長期的な観点から、複数年度の退職者数を、年度を越えて採用できる柔軟な措置を講じることが求められています。</p> <p>教育研修部の機能を強化し、授業アンケートの結果を踏まえた自己検討がすすむようにしていきます。</p> <p>ICT教育の研修もすすめていきます。</p>	<p>専任教諭の採用</p> <p>授業アンケートの実施</p>	<p>中・長期的な観点を踏まえて、教科・年齢のバランスを考慮した採用を実施しました。</p> <p>授業アンケートの結果を踏まえ、自己検討を求めました。</p>
6 防災・安全対策	<p>(1) 防災対策の徹底</p> <p>ア. 防災意識の向上</p> <p>(2) 安全対策の徹底</p> <p>ア. 通学時における安全対策の強化</p>	<p>防災訓練</p> <p>・「交通安全週間」</p> <p>・「登下校指導」</p>	<p>・「交通安全週間」の実施</p> <p>・「登下校指導」の実施</p>	<p>防災意識の向上を図るため、1 学期に防災訓練を実施していますが、本年度は実施を見送りました。</p>